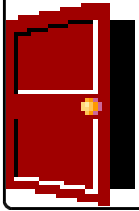


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No. 42

桑村小学校 令和5年9月5日

文責：渡邊

函南町立図書館に出かけよう！ ー第5学年児童と第6学年児童の作品よりー

「函南町立図書館に出かけよう！」の最後は、5年生と6年生の作品を紹介します。

【5年生の作品より】

5年 清水 菜々子さん

わたしが発見したことは4つあります。1つ目は、入り口に季節の本があったことです。今は夏なので、おばけの本がありました。学校にある本も何さつかありました。2つ目は、おすすめの本があったことです。絵本やぶあつい本がありました。また、読み聞かせに おすすめの本などもありました。3つ目は、本があるところに作者の名前がありました。作者ごとに本がまとめられているのでさがしやすかったです。4つ目は、けんさくきがあったことです。見つからない本のタイトルをパソコンに入力するとすぐに見つけることができました。

町立図書館の工夫を発見し、わかりやすくまとめることができました。函南町に住んでいる多くの人が利用する図書館。少しでも使いやすいように工夫されているんですね。そして、それとともに本に親しんでもらおうとしている工夫もよく見つけたね。桑村小学校の図書室でも、いいところは採り入りたいですね。

5年 大熊 清菜さん

本を返すときに、「えんちょうしますか？」と声をかけてくれたので、わすれずにえんちょうできたりと、私たちが気遣ってくれるので安心して借りることができます。

私は、一回読んだ本のシリーズものにはまってしまうので、そのシリーズの本やお母さんからすすめてもらった本を読むことが多いです。いつも同じ場所に同じ本があるので見つけやすいのが便利なところだと思います。また、紙に「新しく入った本」「おすすめな本」と書いてあるときがあります。それを目にしたときには、いつのまにか借りていたことがありました。

函南町立図書館は、赤ちゃんからお年よりまでいたので、すごいなと実感しました。これからもさまざまな本やシリーズを見つけて読み続けていきたいです。

函南町立図書館の工夫とそのよさを上手にまとめることができました。読書を楽しむ清菜さんには、これからも自分自身が読書を楽しむと共に周りの友達にもその魅力を広めてもらいたいと校長先生は願います。

5年 浅田 柚菜さん

とてもたくさん本があり、私は小説が大好きなので3さつぐらいかりました。2時間ぐらい図書館で本を読みました。さがしたい本がコンピューターでさがせるのは便利だと思いました。それに係の人がやさしく接してくれてとてもいい人だなと思いました。なので、冬休みとか放課後とかにも来たいと思いました。

校長先生のおかげで小説が好きになり、私が図書館で読んだ本は『ラブ♡へんさち』という本で、校長先生はあまりきょうみをもたないと思いますが、「えっ」ってなったり、ドキドキしたりする場面があるからよかったら読んでみてください。2階には、校長先生が好きそうな本がたくさんあるので、また、いい本があったらしょうかいしてください。

校長先生へのメッセージをありがとうございました。ぜひ、柚菜さんがすすめてくれた本を読んでみたいと思います。町立図書館の2階には、たくさんの小説がありますね。これからも図書館ですてきな本と出会えることを楽しみたいと思います。

【6年生の作品より】

6年 長田 和樹さん

ぼくは今日、函南町立図書館に行きました。その中で分かったことがあります。

まずは1階についてです。1階は、1、2年生や小さい人用のものがあります。本は、絵本やドラえもんなどのかんたんで楽しい本がたくさんあります。他には、パソコンがあり、本をかんたんにけんさくすることができます。そして、紙しばいなどが読めるスペースがありました。

次に2階についてです。2階には新聞やざっし、CDなど1階にないものがおいてありました。そして、勉強ができるスペースやパソコンを持ち込んで学習できるスペース、食べ物を食べるのできるスペースがありました。このように、図書館は本を読むことを楽しむとともに、勉強や仕事にも使うことができることを知りました。

町立図書館は読書を楽しむとともに、勉強や仕事にも利用することができるという発見は大切なことです。和樹さんも中学生や高校生になったら、町立図書館の静かなスペースで学習するようになるのでしょうか。校長先生は大学生のときに図書館で勉強したのを覚えています。カリッカリッと鉛筆の音だけが響く空間は、勉強をしなければという気持ちにさせてくれますよ。

6年 熊木 楓太さん

はじめに発見したのは、入り口の段差が車いすを利用する方でも上れるように小さな坂と手すりつきスロープ、自動ドアなどのユニバーサルデザインが使われていることがわかりました。

図書館の中は、本のだい名順になっていたり、「だんさに注意」など、子どもでもわかりやすいつくりになっていたりしました。

函南町立図書館では、子ども、大人、そしてお年よりの方がたがかいてきに本を読んだり借りたりすることができるのがわかりました。

町立図書館の工夫をユニバーサルデザインの視点から発見することができました。小さな子供からお年よりまで使いやすい工夫がされている施設はとても温かい建物ですね。函南町のみんなが読書を楽しむことができるのは、とてもすてきなことでと校長先生も思います。

6年 飯塚 大耀さん

函南町立図書館に行って、本をけんさくする「けんさくき」を見つけました。けんさくきで、本のある場所が分かったり、その本が貸し出しされていたりするのかが分かります。

2階には、勉強するところがありました。また、函南町のいろいろなしせつのパンフレットがありました。図書館には、いろいろな種類の本やしりょうがあつてすごいと思いました。図書館の入り口の近くでは、読み聞かせのようなことが開かれていました。とても楽しそうでした。図書館では、読み聞かせなども開いているのですすごいと思いました。

町立図書館の工夫をたくさん見つけることができました。子供から大人まで読書を楽しむようになっているのですね。図書とともにパンフレットが置かれているのはどうしてでしょうか？きっと函南町以外から来た人々に、函南町の良さをPRするねらいがあるのかもしれないね。

この夏休み、本校の子供たちは保護者の皆様方と函南町立図書館に出向き、読書を楽しんだり図書館の様々な工夫を発見したりすることができました。

1年生から6年生まで、それぞれの子供たちがいろいろな取組をした様子が、カードを拝見し伝わってきて、とても嬉しく思いました。今回の経験は、子供たちが成長したとき、きっと役立つことと思います。

皆様方のご協力に感謝申し上げます。どうかこれからもお子さんと共に読書を楽しんでほしいと思います。

また、今回、親子で取り組んでみて、我が子の成長を感じられたのではないのでしょうか？そうしたことをみなさんと共有できたら素敵な読書通信『読書活動への扉を開く！』になることと思います。どうかお知らせくださるようお願いします。

(※これまでの読書通信への意見や感想もお待ちしています。)

----- 切 り 取 り 線 -----

「読書活動の扉を開く」(9月5日号)を読んでの感想
()年()